

2012年度 京都造形芸術大学 蒼山会 創作・研究補助制度 申請者募集について

以下の通り、「蒼山会 創作・研究補助制度」申請者の募集を行いません。

「蒼山会 創作・研究補助制度」は、本学学生の自主的な創作や研究に対して蒼山会（保護者会）から補助金を支給し、みなさんの長期的・計画的かつ社会性のある創作・研究活動をより発展させることを目的とした助成制度です。

申請内容の評価ポイント

[1] 社会性 [2] 独創性 [3] 実現性 [4] 計画性 [5] 発展性

対 象

・京都造形芸術大学学部生 1～3回生

申請内容

・個人又はグループでの、創作活動・研究活動・ベンチャービジネス等

【備考】

[1] ジャンルは不問。学術研究・映像・舞台・美術工芸・各種デザインは勿論、複数のジャンルにまたがるもの・ジャンルの枠を超えた新しい表現なども対象とします。

[2] 申請は1人（1グループ）1件に限ります。

[3] 創作研究内容は、本学学生が企画立案したものに限りま

す。グループの場合、メンバー全員が本学学部生であることが望ましいのですが、万一外部にメンバーがいる場合は、そのメンバーの所属・活動計画の中での役割を明記すること。（本制度の補助の対象はあくまでも本学学部生です。主要メンバーは本学学部生であることが必要です）

補助金額

・総額200万円 査定あり。採用件数は予算の範囲内で運用。

申請までの手順と方法

[1] 申請書（本募集要項に添付）を受け取る。

[2] 申請書（活動・研究計画書）の作成。関連資料の作成。

[3] 専門分野の教員の指導を受ける。（申請書の「指導教員所見・確認印」欄に教員の記述・押印を受けること。）

[4] 申請書（活動・研究計画書）・関連資料を揃えて、教学事務室 学生生活窓口へ提出。

提出書類についての注意

[1] 申請書（活動・研究計画書）

- ・申請用紙は手書き不可。文字サイズは10ptで記入のこと。
- ・項目1～6までは必ず記入すること。項目7は任意。
- ・申請用紙を記入後、プリントアウトしたものに指導教員より直筆で「所見」と「サイン・押印」をもらうこと。

[2] 関連資料の種類と例

- ・ポートフォリオ（以下含めて20ページまで）
 - ・作品を記録した写真（A4サイズの用紙片面にまとめること。写真は複数可。上限5点）
 - ・原稿（創作した戯曲、文学作品・研究論文等の概要をまとめたワープロ原稿・A4サイズに出力のこと）
 - ・公演及び展覧会等のチラシ、DM、ポスター等の広報活動ツール
- ・DVD（5分以内に編集し、タイトルを明記すること）

すべての資料に学籍番号・氏名を明記し、申請書に添付すること。

申請から補助金給付までの流れ

[1] 申請期間：2012年6月1日（金）～6月29日（金）

受付時間：月～金 午前9時から午後6時まで、土曜日 午前9時から午後4時まで

[2] 一次選考：書類審査

[3] 結果通知：2012年7月17日（火）以降に一次選考の結果を学科経由で通知予定

一次選考通過の場合、二次選考の面接日時を連絡します。

指定した面接日時は変更不可。下記の日程の予定を空けておくこと。

[4] 二次選考：面接審査 [面接日：2012年8月上旬（予定）]

[5] 結果通知：2012年8月中旬（予定）

[6] 授与式：2012年9月下旬（予定）

創作研究期間

・2012年8月～2013年10月下旬（最終報告書提出締切日まで）

2011年度採用者の最終報告会への出席

・採用された場合、前年度採用者の最終報告会へ出席することが必要です。（2012年11月予定）

研究発表の方法についての学習の場として、必ず出席すること。

中間報告

・採用された研究課題については、創作・研究途中の中間報告を行います。中間報告については、その結果に基づき、それ以降の創作・研究経費の減額、研究の中止等を行なうことがあります。

中間報告書の提出締切：2013年5月下旬 中間報告会：2013年6月初旬に開催

最終報告

・採用された研究課題については、創作・研究の最終報告書の作成（会計報告含）と、最終報告会において、創作・研究の成果の発表を行います。

【最終報告のまとめ方】

・最終報告としては、どれだけの人にどのような影響を与えたのか、又評価されたのか等（対外的意味）をリサーチ（各々の発表内容についてリサーチの手法を検討する事）し、結果を発表すること。

自己完結するのではなく、客観的に自分の創作・研究が社会に与える影響、社会の中での意味（位置）を調べてまとめることが重要。

【最終報告書の作成・提出について】

[1] 提出書類について

・最終報告書（部門別）...創作・研究の目的、方法、研究作業の日程、結果及び成果等について

・会計報告書（領収書を添付）

・添付資料（任意）

・発表会時のレジュメ

[2] 書式について

・部門別（学術部門・制作部門）の所定書式有り。

最終報告書の提出締切：2013年10月下旬（予定）

【最終報告会について】

・報告発表会：2013年11月（予定）

報告発表会には、他の報告者の発表も聞くよう最初から最後まで出席すること。

申請にあたっての諸注意

- ・本制度を利用し、自分の研究や制作をより深めていかれることを期待します。研究制作の成果を、卒業制作や卒業論文につなげていくこともかまいません。但し、対象が通常授業の課題そのもの場合は認めません。
- ・申請の段階で必要なデータが揃えられており、創作・研究のプランニングが出来ていること。申請したプランを完成させることを前提とします。
- ・プランが採用された後、補助金額が申請した額より少なく査定された場合においても、当初のプランを完成させるように努めること。
- ・創作・研究結果報告と会計報告を義務とし、申請計画と異なる予算執行は基本的には認めません（領収書は必ず保管すること）。但し、創作・研究途中に計画変更の必要が生じた場合はその事由を明らかにし、必ず教学事務室へ相談・報告に來ること。
- ・単なる文献資料のみや、備品・材料のみの購入費用に充当するための補助制度ではありません。申請にあたっては研究計画の内容や性格に由来するものであることをできるだけ具体的に記入すること。
- ・交通費・宿泊料については、補助対象としますが、申請金額については査定の上決定します。
- ・創作・研究計画に、相手方の同意、協力や社会的コンセンサスを必要とする内容を含む場合には、関係者の人権や個人の利益の保護について十分な配慮を行い、そのために講じる対策等について具体的に記入すること。
- ・採用となるには、しっかりとした創作・研究計画を立案していることが前提になります。助成を受けることとなったあかつきには、大学時代のキャリアのひとつとして、より一層芸術の創作・研究調査に熱意をもって取り組まれることを希望します。

2012年6月1日 京都造形芸術大学 学生生活委員会

2011年度 蒼山会創作・研究補助制度 採用実績

学科	代表者氏名	申請形態	テーマ	採用額(円)
こども芸術	寺田美穂	グループ	アートと地域、子どもと大人と学生をつなぐ展覧会	172,000
美術工芸	安部由里子	グループ	こどもの創作活動及び実践研究から学ぶ	200,000
美術工芸	今西真也	個人	絵画素材としての漆喰の可能性とそれに伴う表現領域の可能性	280,000
空間演出D	大嶋真矢	グループ	企業と産学連携での小型電気自動車「雅」の試作車及びその広報活動を通じての将来的な商品化に向けた研究活動	300,000
美術工芸	黒岩正道	個人	藤田嗣治の支持体解明研究をもとに新たな表現領域の可能性を探る	390,000
映画	山本晃大	グループ	舞台公演による震災の復興支援と交流と芸術の必要性の追求	630,000